

教科書 検討の観点と特色

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名	発行者名
17教出	現社304	最新 現代社会	教育出版株式会社

項目	観点	特色等
1 内容の選択と程度	<ul style="list-style-type: none"> * 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1編は、指導要領に示すとおり、導入として位置づけられ、それにふさわしい身近な3つのテーマについて、写真やわかりやすい資料を用いて展開しており、実用的な内容となっている。さらに、問題点が明確に焦点化されており、生徒が学習を行うための動機となる素材が十分に用意されている。 ● 第2編は、政治・経済分野をはじめ学習内容が充実し、哲学思想や歴史（経済史など）といった発展的・横断的な内容も適宜取り上げられ、バランスのとれた学習事項が扱われている。また、中学公民で学んだ事項から、専門性の高い事項まで幅広く扱われており、学習の発展段階に配慮した配列や簡潔な本文記述となっている。側注や用語解説などにより内容の充実が図られ、学習の理解を助けている。特定の学力層に偏らず、広範な学力層を対象にできる教科書である。 ● 第3編は、まとめとして位置づけられ、第1・2編の学習をふまえて取り組むべき、課題探究学習に重点を置いた適切なテーマで構成されている。「トークセッション」「考えてみよう」「調べてみよう」など、アクティブな学習の例が示されていると同時に学習スキルが十分に身につくよう工夫されている。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1編は、生徒に身近な話題を扱い、かつ各項目とも適量で構成されている。 ● 第2編は、各単元とも基礎的な内容から発展・応用的な内容まで、順序よく構成され、見開きで使いやすい。特に政治・経済分野をはじめ、生徒に身近な話題を適度に取り入れ、学習内容が根本から理解できるように工夫されている。 ● 第3編は、第1・2編の学習をふまえて、課題探究学習に適した話題と学習スキルを高める内容について、適量で構成されている。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 * 印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例の紹介や、特定のテーマを解説する小コラムが多くのページにみられ、学習に深みを与える。見開き右ページの「Key Word」は学習の整理に役立つ。 ● 本文を補足する側注解説だけでなく、重要語の解説や法律条文、各種資料などを見開き紙面のなかに設け、学習のいっそうの理解と発展が図られている。 ● 編・章ごとに右ページのインデックスとともに色分けされ、わかりやすい。 ● B5判（大判）を生かして多数の写真や図表が大きく掲載され、識別しやすく、資料性が高い。本文・側注は、活字の大きさ、行間とも読みやすい。 ● 装丁は堅牢で、長期の学習においても耐久性がある。
4 総合所見		<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会は、指導要領が示すように倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会にかかわる現代社会の諸課題などについて、様々な観点から追究させる科目である。その目標の達成に向け、本教科書は数多くの学習事項と追究すべき課題を、特定の分野に偏ることなく扱っており、公民科として総合的な学力の向上が期待できる。 ● 2単位の授業時数のなかで多くの学習事項にふれることができ、「現代社会」のみの履修で「高等学校公民科」を修了する際も、社会事象に関する十分な知識と公民としての基本的な教養が習得できる。 ● 写真、グラフ、図解、表が非常に豊富で、かつ大きく掲載されているため読み取りやすい。本文や側注の解説による理解だけでなく、視覚的な理解や読図、資料分析の能力向上にも最適である。